



あけましておめでとうございます

寒波がやってきて、日本海側は大雪に見舞われた。雪こそ降らなかつたが、元旦早々、絹幼稚園の水道管が凍結破裂長靴での「出勤」となった。

帰りに、近くの公園の小高い山に登る。キンと張った冷気、青空、筑波も富士も、美しくくつきりと屹立していた。

私も、身を引き締め新年を祝い、誓った一日が過ぎただけなのに、新たな一年、再出発、古来から、人々はこうして、自らを鼓舞してきた。



今月の行事予定		
日	曜日	内容
4	月	保育始め
5	火	給食費引き落とし日（3歳児以上）
7	木	交通安全教室（4・5歳児）
13	水	絵本の読み聞かせ（5歳児）
15	金	餅つき
20	水	陶芸教室（5歳児）
21	木	誕生会
22	金	避難訓練
26	火	発表会予行（きりんグループ）
27	水	発表会予行（ぞうグループ）
28	木	歯科検診（10時～）

あけまして

おめでとうございます。

今年も、子ども達の笑顔がいっぱいの年になればと思います。コロナウイルスと共存しながらも、子ども達とたくさん遊び、経験できることを少しでも増やしていけるようにと考えています。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

●今月の予定の中から●

●交通安全教室（7日）

・教員の方々の劇を楽しみながら、交通ルールの大切さを学びます。園への送迎の際にお子さんと手を繋ぎ、子どもだけで走っている危険な様子が見られ、とても心配です。

●もちつき（15日）

・前日に5歳児がもち米を洗い、当日、3歳児以上は本物の臼と杵で餅つきを行います。その後、今年初めてならせ餅に挑戦します。



・園庭の枯れ枝に紅白の餅をつけ、無病息災と五穀豊穡を願います。昼食は、0・1・2歳児が、お雑煮風うどんを食べ、3歳児以上はお雑煮風うどんときな粉ばた餅を食べます。

●陶芸教室（20日）

・5歳児が陶芸に初めて挑戦します。子ども達が楽しんでくれますように。

●誕生会（21日）

・今回は発表会の予行練習等の関係で第4週目に誕生会を行います。大型紙芝居を楽しむ予定です。内容は楽しみに！

●発表会予行練習（26日・27日）

・きりんグループ（26日）ぞうグループ（27日）が予行練習を行います。子ども達は、発表会当日に向けて楽しみながら劇や合奏に取り組みしていきます。年下の子ども達も練習風景や予行練習を見る機会を設けていきます。

●歯科検診（28日）

・当日10時から歯科検診が始まりますので、朝の歯磨きをしっかりとってきて下さい。

★お願い★お知らせ

★登園は9時までにお問い合わせ致します。

・また、欠席・遅刻の場合も9時までには必ずご連絡下さい。（電話が繋がりにくい事もありません。迷惑をお掛けすることもありますが・・・）ご連絡いただいてない場合は、給食の提供が難しくなります。

★早寝・早起き・朝ご飯・朝排便の習慣は大切です。

・休み明けは生活リズムが崩れがちです。早寝・早起き・朝ご飯・朝排便の習慣をつけましょう。新年早々にお話するのも恐縮ですが、最近、便秘の子ども達が増えているのが大変になります。規則正しい生活を送る為にも毎日の排便は保護者が把握する必要があると思います。便秘をもよおしても我慢したり、便秘さえもよおさなかつたり、力めなかつたり原因は様々です。便秘になった場合は早めの医師の病院受診をお勧めします。（便秘の辛さは大人も子どもも一緒です。）

☆発表会は2月6日（土）

9時頃～12時半頃（終了予定）

・今年、たいようぐみ・そらぐみの4・5歳児をクラス別、年齢別の4部制で行います。以前お知らせしていましたが、土曜保育は実施致しません。

☆卒園式は3月28日（日） 11時開始予定です。

「大地おどろ」

年末は、急に寒気が押し寄せ、コロナと寒さに誰もが震えているのに、ふたばっ子は、相変わらず半袖半ズボンで、肌を赤くして走り回っていた。暖房しているのに、保育室は開けっ放しで出入りしていて、全く暖房の意味がない。ふたばっ子は、なにしろ元気だ。▼2学期の終業式は、このふたばっ子パワーで、伏せ目がちになった社会に喝を入れ、コロナを吹き飛ばそうと、伝統の舞「大地踊り」で締めくくった。

うと、伝統の舞「大地踊り」で締めくくった。

▼本園のスローガンである「たくましく大地に根を張れ、ふたばっ子」はこの舞の中に生きていく。大地に根を張って、すくすくと伸び、たくましく成長していく大樹の如く、子ども達の心豊かで、健やかな未来を願う「根っ子の教育」を表現している。▼ドドンという太鼓の音で、子ども達は、寒気を切り裂き、悪霊を追い払うがごとく、ヤーと声を張り上げ、氣迫を込めて走り、飛翔し、両手を突き出し、大地をドンと踏みならず。まことに可憐であるからなお一層、私達大人を励ましてくれてやまない。何事もあろうと屈するな。人類は悠久の昔から、どんな困難も克服してきた。お互いを思いやり、力を合わせてこの禍を克服する祈りを、子ども達の大地踊りの舞に託した。給食室の方々、運転手さんも、わざわざ見に来てふたばっ子の迫力ある舞に、感動して涙をぬぐっていた。私達職員も胸にくるものがあつた。▼クリスマス、年末、年始にかけて、沢山のメール・動画・テレビ電話が届いた。昨年は、オンライン、VTRでの会議・研修会も行った。園の行事も配信した。テクノロジーのお陰で、人との交流も、便利で簡単になり、私達はいつも誰かとつながっているが、リモートであり、離れている。何か足りない。ぬくもり、匂い、質感がない。空虚で孤独である。人は、人の温もり、細やかな人の目、表情、生の声で人と関わってきた。今年も保護者の皆さんと、直接感動を一緒に味わい、共感・共有したい。▼コロナは、人と人を引き離し、リモートにするが、子ども達は、私達の未来であり、希望であり、愛であり、いつも私達を感動させ、励ましてくれ、人と人をつなぎ合わせてくれる。子ども達の「大地踊り」にこめられた「祈りとパワー」でコロナを吹き飛ばし、人を結び合わせ、支え合わせてくれる。今年はずっと良い年になる。良い年にしよう。

